

評価室から ～新人評価者紹介～

「評価者やらない?と誘われて」

第三者評価の評価者をやらない?とJさんに誘われ、「やります。やらせてください」の積極的な気持ちではなかったが、第三者評価機関の門を叩き、研修を受けるのは久しぶりで心配と緊張の中、無事終了しスタートしました。

評価者は、利用者本位のサービスが行われているかの視点で、評価項目毎の講評をまとめるのだが、文章力が無い私には難しく、「約束の時間に遅れない」、「メールで送るものは、出来る限り早く送る」が精一杯ですが、行ったことが無い地域の施設を訪問したり、経験豊かな先輩達とチームです仕事は、新鮮に感じています。教を乞いながら、少しずつ経験を積んで、施設利用希望者や事業所に貢献が出来れば良いと思っています。(K.K)

「評価者になって」

老々介護で暮らす高齢の両親、そろそろ限界だと感じ、勤めていた職場を退職して実家に通っていた頃「家で自分のペースでできる第三者評価の仕事はしませんか」と声をかけていただいたのです。『自分のペース』という魅力的なことばに惹かれ、ひと・まち社を紹介していただきました。



実際に始めてみると、家での仕事は思っていた以上に時間がかかります。自分のペースとは、自分の段取り力や集中力・文章力次第なのだという当然のことを忘れていました。今後は、自分のペース(力量)を自覚しつつ、先輩評価者の方々から学んでペースアップを図っていきたくと考えています。これらを踏まえ今後も、個人の尊厳を大切に、安定した福祉サービスが提供されるよう、分かりやすい表現で事業者にフィードバックしていきたい。(N.M)

評価者募集中

東京都が認証する評価機関は114法人ある。ひと・まち社は2002年の試行時に認証機関となって以来評価に取り組み、実績は576件。今年新たに1名が評価者養成講習を修了し、現在の所属評価者は30名となった。

評価者養成講習は年一回開催で、「資格を保有して福祉現場に3年以上勤務」・「3年以上20名以上の従業員をもった実績のある経営者」・「調査・研究活動の実績保有者」などが資格要件となる。ヘルパー・介護福祉士・社会福祉士・ケアマネジャー・保育士・看護師、事業経営などの経歴のある方、調査機関などの研究者の皆様、ひと・まち社で東京都福祉サービス第三者評価に携わりませんか。高齢分野・障害分野・保育分野ご経験の皆様を募集中!!

自治体政策研究会報告

脱炭素経済社会への移行期における政治課題と東京政策 2023年統一自治体選挙後

自治体政策研究会事務局長 橋本牧

2023年4月に行われた統一自治体選挙では、女性や20代、30代の当選者が増えたと報道される一方、無投票当選の増加、投票率の低下は止まらず、政治への無関心は広がっていることが確認される。それでも私たちの暮らしの課題は山積しており、特に毎年、各地で発生する大規模な自然災害を目の当たりにすれば、脱炭素への取り組みは急務と言える。坪郷實先生(早稲田大学名誉教授)は、現在を「脱炭素経済社会への移行期」とし、その特徴と統一自治体選挙の分析を自治体政策研究会で問題提起され、参加者で議論した(傍点筆者)。

2020年からの新型コロナパンデミックが明らかにしたことは、国が枠組みを決めても自治体が対応できなければ、私たちの生命や暮らしは大きな危機にさらされるということだった。貧困格差が広がるなかで、例えばフードバンクなど、不十分な国、自治体の施策ゆえ市民が自発的に取り組み、また、エネルギーや農業、ケア労働を軸に持続可能な地域をつ

る新たな地域経済活動の流れが生まれている。身近な自治体政治は、私たちの生活の質に密接している。折しも埼玉県議会自民党が提案した“子ども放置禁止条例案”は、多くの批判を浴び撤回に追い込まれたが、先の埼玉県議会選挙の投票率は34.92%と過去最低だった。凶らずも地域政治に無関心であることが、地域に何をもたらすかを示す一例となった。

社会課題解決のための政策をどのような仕組みで実践するのかも問われる。自治体行政は、非正規公務員が増え続ける体制で市民のニーズにそぐう施策を遂行できるのか、具体を誰が担うのか。自治体議会は、人口が減少し縮小する財政のなか施策の優先順位をつけ、地域社会を分断させずに合意形成を図れるのか。それを担う議員はどのような責任を負うのか。私たちがすすめてきた市民政治の実践と、いま経験している現実を見据えて、新たな自治分権の議論が必要だと感じた。

メールアドレス登録のお願い

ひと・まち社ではSDGsの取り組みとしてペーパーレスをすすめています。今後の機関紙「ひと・まち」の電子データでの発信をすすめています。通信購読をご希望の皆様にはメールアドレスのご登録へのご協力をお願い致します。npo@hitomachi.org

ひと・まち社へのご寄付をお願いいたします

振込先口座

特定非営利活動法人市民シンクタンクひとまち社

三菱UFJ銀行 新宿中央支店 普通 5298170

編集後記：世界各地に起きている自然災害や紛争などの報道を目にするたびに、どうしたらいいのだろうかという無力感にさいなまれる。足元を見れば、インボイス制度が始まり、介護保険の負担増などが検討され、ますます声の弱いものにしわ寄せが来そうだ。そんな中、多様な人々とのつながりを大切に活動に触れ、少しずつ前に進むことの大切さを思い返すことができた一日だった。(K)